

第 1 ～ 3 回審議会での意見等の整理・分類

【委】 = 審議会での委員の発言を基にした意見
 【学】 = 審議会での学識経験者の発表を基にした意見
 【レ】 = 第三期の進捗状況報告を基にした意見
 【(子・教・保)ア】 = 武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査結果を基にした意見
 【委③】 = 第3回審議会での意見
 ※分類名や番号順は便宜上付与したものと

⑩今後の特別支援教育のあり方

学校の先生だけではなく多くの人が関わって細分化しながら支援をするべき【委③】

特別支援教育で一番有効なのは教室環境、ルール、雰囲気整備(間接的支援)【学】

特別支援教育の推進(ユニバーサルデザイン、特別支援教室の充実)【教ア】

②子どもの居場所づくり

不登校の子が一人で悩む状況をどうにかしたい【委】	アンケート結果から不登校支援のニーズが高いのは【委・ア】	別室登校、教室以外の居場所づくりは効果的【委】
不登校のきっかけ「先生、身体不調、生活リズム、勉強等」【学】	サロン型支援だけでなく、アウトリーチ型支援も大切【学】	家庭と子どもの支援員(常駐型)増、保護者支援【レ】
特定の領域に才能をもつ子の支援も今後大切だ【委】	ICT活用、フリースクール連携、特別校の研究など【レ】	日本語指導の支援充実【レ】

③ICTの創造的活用

ICTは今後有益に活用する必要がある【委】	子どものアンケートでICT顕著。できることもっとあるのでは【委】	動画や映像作り、プログラミング【子ア】
学習者用PC等を使った興味があること調べ【子ア】	デジタル・シティズンシップ教育推進(創造的な学習者用PC活用等)【教ア】	情報活用能力育成、デジタルシティズンシップ教育【レ】

多様性を生かすためのツールとしてのICT活用が大切【委③】

④個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

細かいことを覚えるだけでなく、活用の効く知識が大切【学】	子どもは有能な学び手で、環境を整えれば学ぶ【学】	子どもの気付きからの課題追究が大切【委】
協働的な学びでは、教員も一緒に探究する【学】	個別最適な学びの充実には教員に求められるもの大きい【委】	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実【子・教ア】
学習の基盤となる資質・能力の育成(言語能力、情報活用能力)【保教ア】	多様な本との出会いや読書に親しむ機会の確保【レ】	

⑤体験活動の充実(文化・スポーツ・自然)

外国語教育の充実(留学生との交流、英語指導力の向上)【保子ア】	プロの音楽家の演奏を聞く、美術作品を見る【子ア】	スポーツ選手と一緒に体を動かす、話を聞く【子ア】
たくさんの自然を見る、ふれる【子ア】	セカンドスクール等の体験学習は子どもが大きく変わる【委】	長期宿泊体験学習の効果検証【レ】
直接人と出会い、話すことができるのが学校のよさ【委】	色々な学年や学級の子と学ぶ、遊ぶなどの交流【子ア】	体験活動に予算と時間をかけるべき【委③】
	豊かな感性が新たな課題発見や意欲につながる【委③】	

①学校運営のあり方(教育課程の編成・働き方改革等)

社会構造が大きく変わる中で教育だけ変わらないのは不可能【委】	自分で考え判断・行動できる子の育成には学校が変わる必要【学】	育成する資質・能力の明確化が大切。調査、地域、社会動向の把握【学】
学校評価を通して教育活動を見直し、改善するスパイラル【学】	授業の1、2割が変われば学校は変わる。特に総合的な学習等【委】	働き方改革の推進(人員確保、業務改善、部活動)【教保ア】
学校の教育目標をどう設定しているのか【委】	学校の教育課程を工夫しても、保護者や地域に伝わっていない【委】	教員の専門性の向上(研修会への参加費補助等)【教ア】
		ICT化、部活動の在り方、若手や学校の中核教員の育成推進【レ】

⑨学校・家庭・地域等の連携

学習指導要領の理念...社会に開かれた教育課程の実現【学】	PTAや保護者も教育の一端を担えないか(キャリア学習の話等)【委】	開かれの機能充実、文化生涯学習事業団連携、就学援助制度周知等【レ】
地域や関係機関と連携した教育の推進【教ア】	地域が関わることで第三者から褒められ、自尊感情が高まる【委】	地域の取組が子どもの居場所になることを学校も理解してほしい【委】
地域活動の中で、地域に関わる子どもが少ないと感じる【委】	次代の教育を担う人材の確保(大学連携等)【教ア】	

⑥多様な価値観や意見を生かした学びの充実

価値判断、創造、意思決定、協働等は人間にしかできない【学】	納得解や最適解を求め続ける子どもの育成が必要【学】	多様性を生かした学び(学級活動・生徒会等)【教ア】
-------------------------------	---------------------------	---------------------------

⑧市民性・社会参画意識の育成

市民性や社会参画意識の向上は本計画で大事になってくる【委】	武蔵野市民科で様々な人と関わる中で社会参画意識が高まる【委】	武蔵野市民科でこんなこともできるという体験が世界に目を開く【委】	中学生は防災教育で自分に何ができるかと真剣に考える【委】
社会参画意識向上はSDGsからのアプローチが効果的【委】	市民性の育成、社会参画を意図した取組の一層の推進【レ】	社会の現実、リアルを身近に感じることで当事者意識が高まる【委】	

自分が参画して社会が幸せになるという価値を学校は教えるべき【学】

⑦子どもの意見表明・参加

全ての子どもは幸せになる権利をもつという認識が必要【委】	生徒指導充実(子どもが主体的に考え行動する力の育成等)【保・教ア】	子どもの権利を学ぶ機会づくり、意見表明や参加の実現【レ】	付度や、空気を読む子になっていないか【学】	対面非同期が今後の授業のイメージの一つになる【学】
おかしいと思うルールがある子2割、保護者4割、教員4割【ア】	ルールに不満がないのは自分で変えることを諦めている?【委】	子どもが教室の課題について自分事化しているか【委】	多様な意見がある中で、自分の意見を自主的に発信できるようにしてほしい【委③】	

学校で合意形成における民主主義を身に付けさせるべき【委③】

子どもたちだけで活動するという自治力を身に付けさせるべき【委③】